

ひきこもり家族自助会とやま大地の会(設立 2001 年 3 月)

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

♪ ♪ 例会のおしらせ ♪ ♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。
能登半島地震の影響により、**会場が変更になっています**。今後も変更点がある場合がありますので、
参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

04 月 20 日(第 3 土曜日) 第 278 回例会 13:30 ~
富山市舟橋北町 7-1 **富山県教育文化会館 502 号室**

令和 6 年度の総会を行います。ご参加よろしくお願いたします。

05 月 18 日(第 3 土曜日) 第 279 回例会 13:30 富山市舟橋北町 県教育文化会館 5 階研修室

06 月 15 日(第 3 土曜日) 第 280 回例会 13:30 富山市舟橋北町 県教育文化会館 5 階研修室

07 月 20 日(第 3 土曜日) 第 281 回例会 13:30 富山市舟橋北町 県教育文化会館 5 階研修室

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)

非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。

駐車場について … 会館近く北東側に会館の駐車場があります。

◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。

◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。

◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>



本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

♪ 3 月例会報告 ♪

日 時: 3 月 16(土) 13:30~15:45 富山県教育文化会館 502 号室

参加者: 18 名(男性 7 名{内体験者 3 名}、女性 11 名{内体験者 1 名})のご参加がありました。

例会の始めに、保科さんのハーモニカ演奏にあわせ、『さくらさくら』・『みかんの花咲く丘』・『ふるさと』を口ずさみ、また『花は咲く』の演奏を聴きました。

I 挨拶・諸連絡

先月、ある会で、「家族の皆さんと共に歩んで」という題で、当会の皆さまとの出会いをお話しました。準備をしていた時から、これまで交流させていただいた 23 年間を振り返り、皆さまと出会えて良かったとしみじみ感じました。

「サンシップとやま」が地震による被害で利用できないため、今後もしばらく富山県教育文化会館を利用させていただくことになりました。4 月以降も 5 階の研修室で行います

II いつもの話し合い

全体会では、運営委員の S さんから“8050”について提案がありました。

【8050 学習会の実施について】 — 1 年ほどかけて行いませんか —

・親のばくぜんとした不安 = 親亡き後の子の生活はどうなるだろうか?

- ・不安の見える化 = 親亡き後の子の生活を具体的にシミュレーション！
- ・明らかになる不安の中身 = 対応策を具体的に考え親亡き後にそなえる！

考えられている項目ですが、

- 1 金融資産と固定資産の確認 親の資産と負債の洗い出し
- 2 住まいについての検討 このまま今の家に住み続けるか
- 3 人的ネットワークも重要な資産 親亡き後のサポートについて
- 4 保険・年金等の活用の検討
- 5 子の「親亡き後の生活が成り立つには」親がいくら貯蓄を残せば良いか。
- 6 ひきこもりの子に教えておくべき一人暮らしの生活術
- 7 親の資産だけで生き抜けないときの生活保護の知識
- 8 親亡き後、子の生活の負担軽減への備え 等です。



補足意見

母親の方から

- ・一口に「ひきこもり」と言っても、様々な方が生きづらさを抱えています。
8050 問題の視点からも、3つのタイプがあると思います。
- 1つ目 … 子がひきこもり始め、親が相談を始めた人。どうしたら良いか？ とアプローチ
- 2つ目 … 長い間ひきこもりの子を抱えている。親は様々な場所に相談したり、親自身が変わろうと努力したり、それでもなかなか変わらない現状に自信をなくしたり、時にはエネルギーをなくしそうになったりしている。それでも子供の将来の可能性を信じたいと願っている。
- 3つ目 … 親はある程度高齢で、ひっぱくしている。8050 問題は整理しておかなければ、切羽詰まっている 8050 直前の世代。
私は、子信じ見守りながら、自分の人生を精一杯生きたいです。
子供の問題を通して、時に落ちこんだり、わずかな変化や子供との心の交流に喜びを感じてきたことも、大切な体験だと思っています。

父親の方から

- ・自分は身辺整理をしている。自身の取り組んできたことを、ペーパーを用意してお話したい。とても繊細な問題であり、奥が深い。当事者がしんどくならないよう、そこも踏まえ、全体会で深く考え過ぎないように注意すべきだと思う。

父親の方から

- ・学習会参加により、皆様との共通事項の他、自分の“8050”を見いだしたいと思います。
- ・皆様事情が異なります。参加意向の方で班を組み、お互い比較することなく、焦らず負担にならず楽しい雰囲気での学習会に参加したいと思います。

引き続き、3班に分けていつもの話し合いをしました。

A班

- ・子の自室は、乱雑に見えていたがそうではなかった。床をいつもきれいにし、ほこりがたまらないように、いつも掃除をしていることがわかった。
- ・子は20代後半になった。私が忙しい時、積極的に家事を担い、大いに助けてくれた。
- ・親がしている家事が大変だと気付くと、自然に手助けしてくれている。
- ・今後、子にしてほしいことは、困ったときに、自然に“助けてほしい”と、他の人に言ってほしい。

B班

- ・最近の子に、(あなたは) 大事な子、元気でいて欲しいと言っています。
- ・また“今日は寒いね”など、1日1声かけるようにしています。
- ・当たり前だから言わないことなく、私も“今日寒いね”など声かけしています。
- ・子に声かけ始めてから、子が父に声をかけるようになり、食事も親子3名でするようになった。
- ・本人はスマホが好き。扱い方を教えてもらおう。本人は喜んで教えてくれます。
- ・皆さんのお話を聴くと、切実に思う事ばかりです。
- ・能登地震時、子が率先して親をリードし、親子一緒に集会場に避難しました。
- ・この会に出てから、子を見る目が出来、子の言葉が分かるようになって来ました。

- ・生活に必要な事、銀行などの手続きを本人と一緒にしています。お金の使い方、魔物みたいまもの。有効活用のコツを教えたら。

C班

- ・もっと当事者の話を聞いてほしい。
- ・当事者にとって安心してひきこまれる場所が必要かな。
- ・人と繋がって安心できる居場所があったらいいね。
- ・その他、社会について。日本と海外との違い、富山と他県の違い(周りの目など)。それぞれの居場所についても話題になり、和やかにお話が出来ました。

III その他

- 1 例会では、十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみなど体験発表をしてみませんか？約 20 分間程度を予定しています。
- 2 投稿欄について
会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00 (要予約)

グループ相談を実施しています。

- ・本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

IV 高岡つくしの会より (2003年設立)

4月 月例会 4月14日(日) 13時30分より

場所 高岡市博労公民館

おとぎの森例会 4月10日(水)14時00分より

4月27日(土)14時00分より

場所 高岡おとぎの森、こども館

※今月より場所がこども館に移ります。

5月 月例会 5月12日(日) 13時30分より

- ・高サポ：きままスペース 毎週木曜日 14:00～ 高岡地域若者サポートセンター
- ・高岡市役所福祉課祖横断受付・福祉連携推進室 (ひきこもりに関する複合的相談)



V 書籍の紹介

『ひきこもりソーシャルワーク 生きる場と関係の創出』 山本耕平著 かもがわ出版 2021

筆者は、保健所相談員、立命館大学、佛教大学教授などを歴任された。また、当事者・実践者・研究者さらに幅広い市民がひきこもりを中心とする若者支援について、それぞれがそれぞれの立場から議論し、実践、制度、法を創り出すことを目指している集まり「JYC フォーラム (若者協同実践フォーラム)」の共同代表を務められた。

本書の紹介文には、「“8050”問題をはじめ多様化する ひきこもり をめぐる問題を、私たちはどのように受け止め、安心してひきこもりつつ育ちあえる場と関係、制度と社会をつくるために、当事者・家族・ソーシャルワーカーがともに取り組む実践の全体像。」と書かれています。読後の感想を交流したい1冊です。(やま)